

平成26年度極域科学専攻在学生アンケート集計結果

1. 趣旨

当専攻の教育課程等に関するアンケートを行い、学生の意見を聴取することで、当専攻の教育課程、教育研究環境等の改善に資することを目的とする。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordファイルで配付）し、電子データで回収。

3. 回収率等

(1) 対象在学生数 18人

(2) 回答数 10人

(3) 回答率 55.5%

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通（自由記述部分を除く）で次のとおり。

「4：強くそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない」

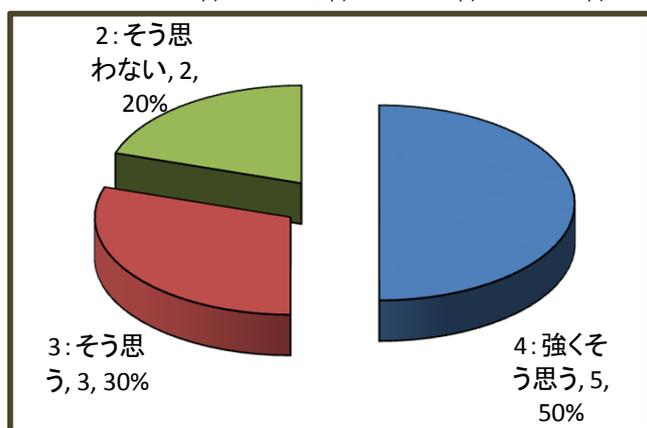
なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

(1) 研究指導について

1) 研究指導を複数の指導教員で行う複数指導体制は機能していると思うか。

4：5件 3：3件 2：2件 1：0件 【平均3.30】

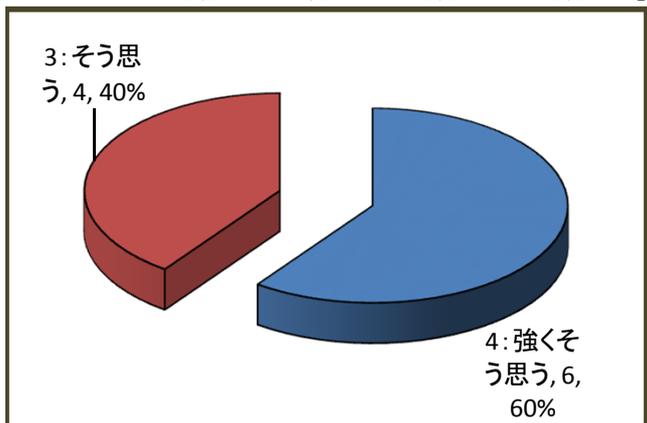


(コメント)

2（強くそう思う、そう思う）の回答が回答の80%を占め、複数指導体制が機能していると評価する学生が多くいることがわかった。しかし、2（そう思わない）の回答が2件あったため、一部の学生は研究指導体制に満足していない現状がわかった。

2) 指導教員は研究指導に十分な時間を割いていると思うか。

4：6件 3：4件 2：0件 1：0件 【平均3.60】

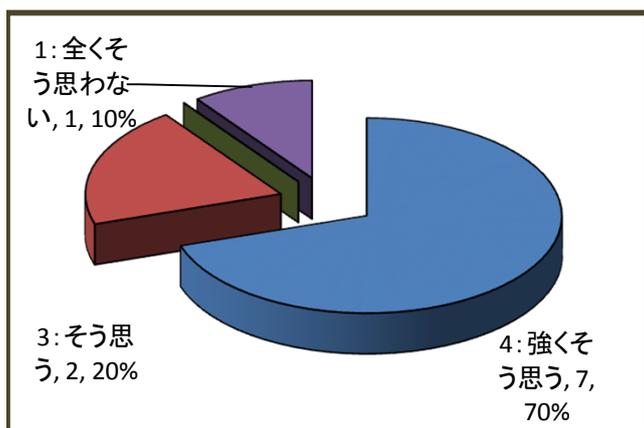


(コメント)

4と3をあわせて、10件100%であり、十分な時間を割いて研究指導を行っていると思なされる。

3) 指導教員は学生の研究計画策定に関し適切な助言を行い、研究計画の実施に際しては適切に指導を行っていると思うか。

4 : 7件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.50】

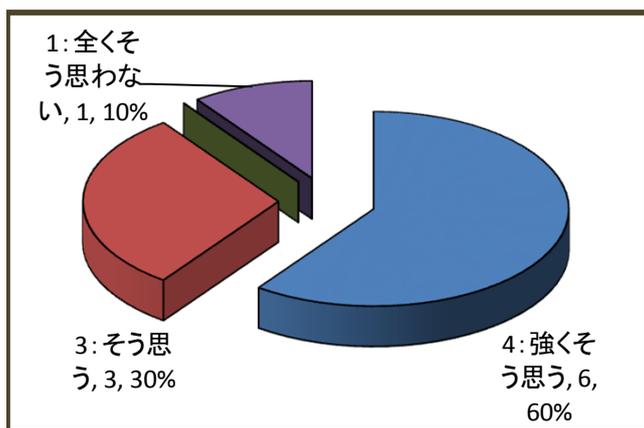


(コメント)

4と3をあわせて、9件90%であり、ほぼ適切な助言及指導を行っていると言える。しかし、1（全くそう思わない）の回答が1件あったため、一部の学生は研究指導体制に全く満足していない現状がわかった。

4) 総合的に考えて研究指導に満足していると言えるか。

4 : 6件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.40】



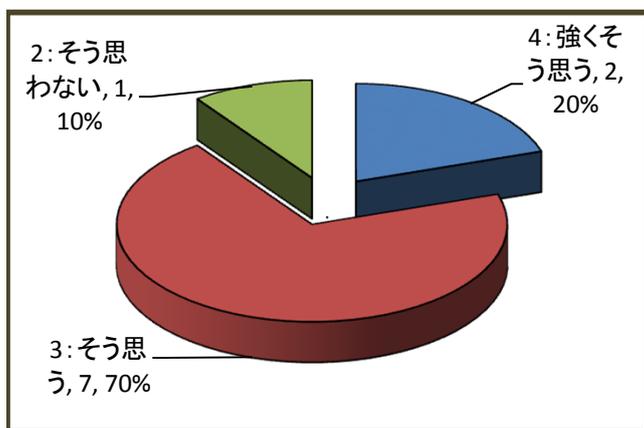
(コメント)

4と3をあわせて、9件90%であり、ほぼ適切な研究指導をしていると言える。しかし、1（全くそう思わない）の回答が1件あったため、一部の学生は研究指導に全く満足していない現状がわかった。

(2) 教育課程(カリキュラム)について

1) 専攻で開講している専門科目は当該分野での学位取得に向けて必要な科目を網羅していると思うか。

4 : 2件 3 : 7件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.10】

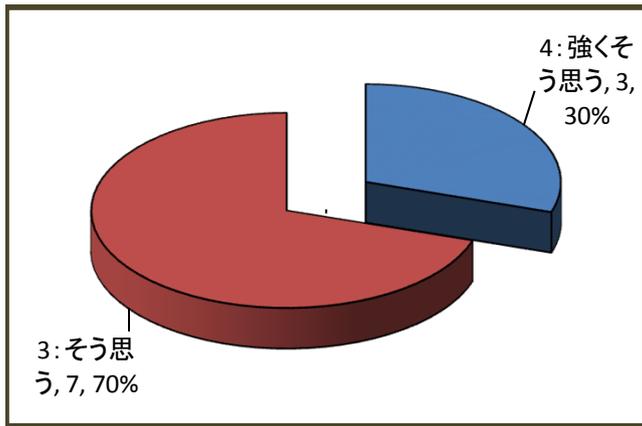


(コメント)

4と3をあわせて、9件90%を数え、ほぼ学位取得に必要な科目を十分網羅していると考えている学生が多いことがわかった。しかし、1（全くそう思わない）の回答が1件あったため、一部の学生は必要な科目を網羅していないと考えていることがわかった。

2) 研究科で開講している研究科共通基礎科目は、研究科の共通基礎科目として適切な内容だと思うか。

4 : 3件 3 : 7件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.30】



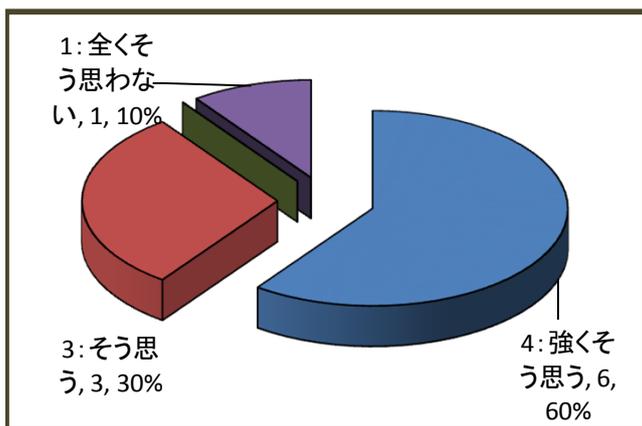
(コメント)

4と3の回答が9件で100%であり、適切と考えているといえる。

(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援等)について

1) 学生の居室のスペースは十分と思うか。

4 : 6件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.40】

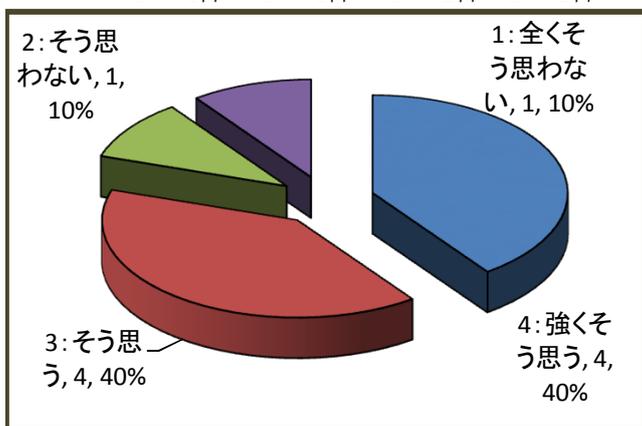


(コメント)

4と3をあわせて、9件90%を数え、ほぼ居室スペースが確保されていると言えると考えている学生が多いことがわかった。しかし、1 (全くそう思わない) の回答が1件あったため、一部の学生は居室スペースが確保されていないと考えていることが分かった。

2) 学生が研究活動を実施する上で必要な機器等の設備は十分と思うか。

4 : 4件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 1件 【平均3.10】

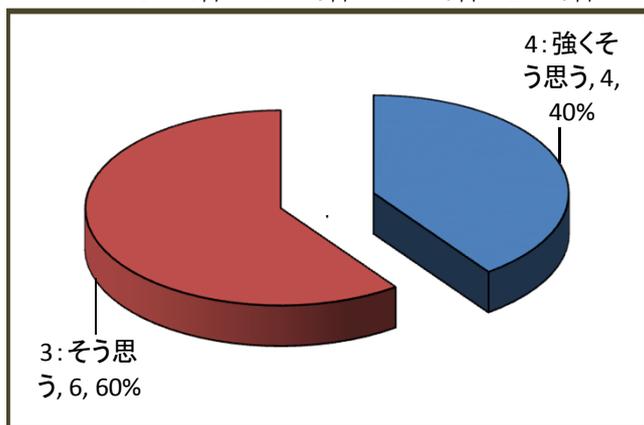


(コメント)

4と3あわせて、回答の80%を占め、機器等の設備が整っていると評価する学生が多くいることがわかった。しかし、2と1の回答が1件ずつあったため、一部の学生は機器等の設備にまったく満足していない現状がわかった。

3) 図書室の蔵書は十分と思うか。

4 : 4件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.40】

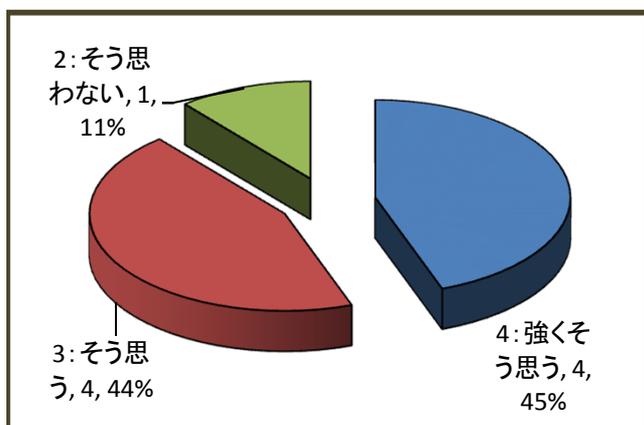


(コメント)

4と3あわせて、10件100%であり、図書室の蔵書に満足している様子が見える。

4) 利用できる電子ジャーナルの種類は十分と思うか。

4 : 4件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.33】 未回答1件

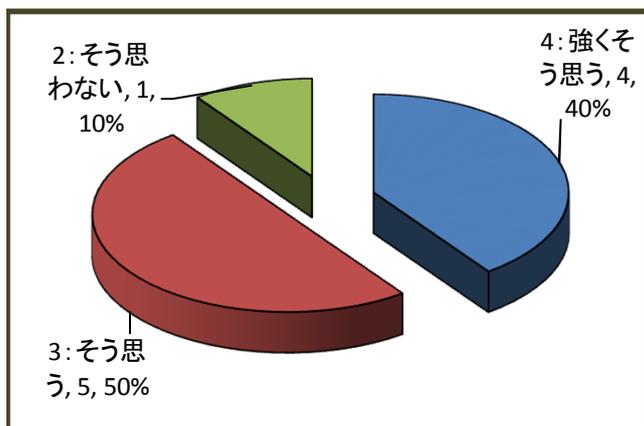


(コメント)

4と3の回答が88%を占め、学生は研究所で利用できる電子ジャーナルについておおむね満足していると考えられる。しかし、2 (そう思わない) の回答が1件あったため、一部の学生は種類が十分でないと考えていることが分かった。

5) 図書室その他の施設の利用はしやすいと思うか (利用時間、利用条件、利用手続き等の点から)

4 : 4件 3 : 5件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.33】

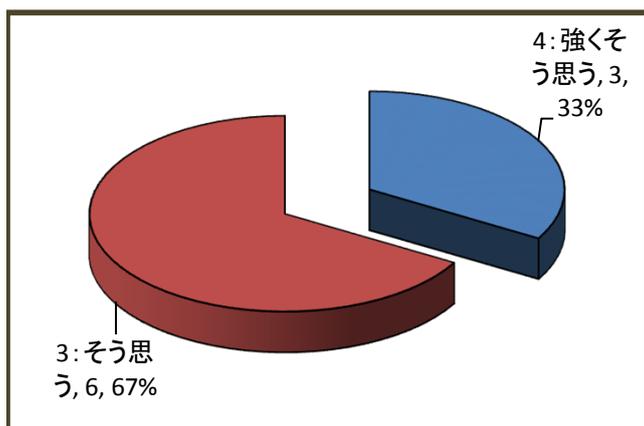


(コメント)

4と3あわせて、90%であり、利用しやすいと言える。2の回答については、以下自由記述にあるとおり利用に直接関係があるとは言えないが、この意見については情報図書室に伝える。

6) リサーチアシスタントは学生の研究能力向上に資するものとなっていると言えると思うか。

4 : 3件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.33】 未回答1件

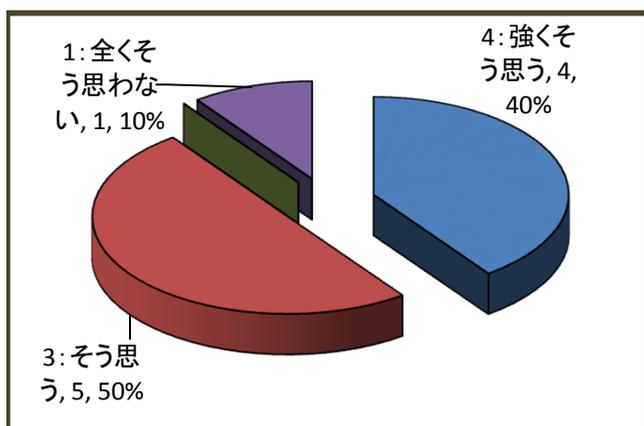


(コメント)

4と3あわせて、9件100%であり、RAが研究能力向上の観点から、およそその学生にとって資するものになっていると言える。

7) 学生の研究活動支援対策（学生支援経費による交通費、宿泊費の支援、旅行時の傷害保険に専攻として一括加入等）は十分と思うか。

4 : 4件 3 : 5件 2 : 0件 1 : 1件 【平均3.20】



(コメント)

4と3あわせて、4と3あわせて、90%であり、おおむね良好な結果である。しかし、1（全くそう思わない）の回答が1件あったため、一部の学生は支援対策がまったく十分でないと考えていることが分かった。

5. 各項目におけるまとめ

(1) 研究指導について<項目(1)-1)~4)>

おおむね良好な回答であった。一部の学生は、研究指導に満足していないと回答した学生がいたことから、主任指導教員と指導教員の連携を見直し、効率よく学生の指導を行っていく必要があると考えられる。

(2) 教育課程(カリキュラム)について<項目(2)-1)~2)>

おおむね良好な回答であった。

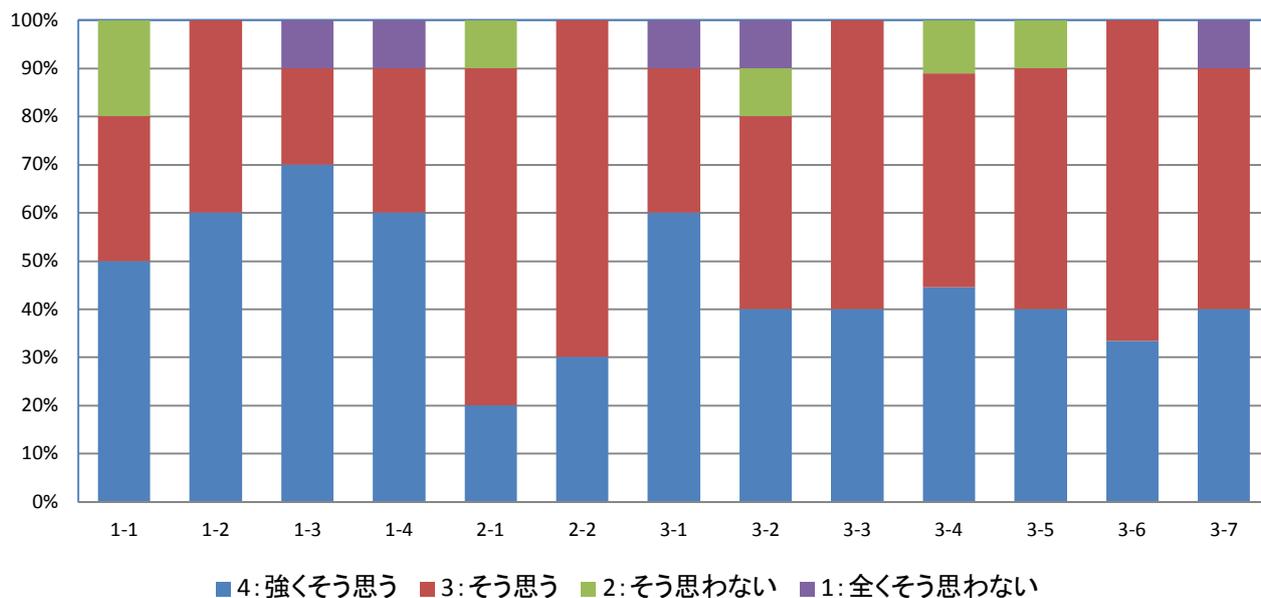
(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援)について<項目(3)-1)~7)>

おおむね良好な回答であった。一部の学生は、居室スペースや機器等の設備、蔵書に満足していないと回答した学生がいたことから、教育研究環境の改善を図る必要があると考えられる。

(4) その他

大学院経費、リサーチアシスタント、学生間での関わり合いについての意見が見受けられた。

H26極域科学専攻在学アンケート結果



6. 今後の対応

平成27年度についても同様のアンケートを実施し、評価及び年度ごとの比較を行う予定。
 今回の調査結果については、専攻委員会へ報告し、極域科学専攻HPに掲載する。